令和８年度「防府市参画及び協働の推進に関する協議会」会議録（概要）

開催日時　　令和 8 年 10 月 8 日（木）午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分
会　　場　　防府市役所本館 3 階　共用会議室 3C・D・E
出席委員　　8 人

◎ 協議事項
① 防府市協働事業提案制度の見直しについて
② 本協議会の今後の進め方について

○ 開会
総合政策部長挨拶

○ 委員紹介

○ 会長・副会長の選任
※委員の互選により、会長、副会長を選任。

○ 会長・副会長挨拶

○ 資料1「防府市における参画と協働について」
事務局から資料に沿って説明

○ 資料2「防府市協働事業提案制度の見直しについて」
事務局から資料に沿って説明

○ Ａ委員
協働事業提案制度について、見直し前に実施していた年度初めの「制度説明会」は、引き続き実施するのか。

〇 事務局
募集期間を廃止し、新たに設置した「総合相談窓口」で随時相談・申請を受付けることとしたため、募集前に実施していた説明会は行わない。

〇 Ａ委員
募集期間の限定、公開プレゼンテーションや事業報告会がなくなり、提案者の負担が軽くなったことは良いことだが、事業の実施が翌年度以降になってしまうとの課題はどのように解消したのか。

○　事務局

　事業実施には予算の確保が必要であり、この課題は解消できていない。

○　会長

　防府市の協働事業提案制度は本協議会の提案で創設された、素晴らしい制度である。

　実施までのハードルが高かったが、今回の見直しで利用しやすい制度になったと感じる。

　しかし、事業実施までに時間を要するという課題が解消できていないことは残念。なんとか、提案から実施までの期間を短縮することはできないか。

○　事務局

　市の予算は会計年度主義であり、柔軟な運用が難しい状況。課題の解消に向け引き続き検討していきたい。

○　Ｂ委員

　説明会を開催しても、事業提案に繋がらない状況が続いた。随時受付になったことは良いこと。

　まず、新たな制度を知ってもらうための周知が重要と考える。

○　Ｃ委員

　関連団体に協力を仰ぎ、会議の場などの様々な機会を通じて周知を図るべき。

○　Ｄ委員

「協働事業提案制度」という言葉が活用の敷居を高くしているように感じる。「地域のお困りごと解決」など、わかりやすく親しみやすい表現にすることを検討してはどうか。

○　副会長

　平仮名を用いることは優しい雰囲気を表現することに有効。ハードルを下げるために、事業内容を説明する動画を公開することも有効と考える。

○　Ｅ委員

　制度をわかりやすく説明することが必要。具体的な実施事例を用いて周知することが有効と思う。

○　Ｃ委員

　この制度を周知するにあたり、何でも解決できる制度と勘違いされないよう、活用ルールをしっかり

伝える必要がある。

○　Ｆ委員

新たな協働事業提案制度を周知する際に、個人でも申請が可能か否かなど申請が可能な者を明確にすると、より制度の活用に繋がると思う。

○　事務局

新たな制度を活用していただけるよう、様々な機会を通じて周知していきたい。

○　資料3「本協議会の今後の進め方について」

事務局から資料に沿って説明

○　会長

できる限り、委員の皆様に出席いただきたいので、事務局には開催日の調整をお願いしたい。

○　Ｂ委員

前回と比べ、総開催数は１回減っているが、スケジュール的には適切と考える。

○　Ｄ委員

検証内容によっては、開催回数が少ないと感じるのでは。しっかりと検証するためには、資料等の工夫が必要なのではないか。

○　会長

以前にも、検証用の資料の見方がわからないという指摘を受けたことがあった。議論を活発に行うためにも、事務局にはわかりやすい資料の作成に努めて欲しい。

○　Ａ委員

これまでの協議会の進め方を踏襲する形で進めることが良いのか疑問に思っている。

市民にもっと市政に参加して欲しいとの目的に向かって、できることがないか今一度、事務局には考えて欲しい。

○　会長

様々な意見が出た。会議が有意義なものとなるよう、回数や検証方法などを模索しながら進めていけたらと思う。

○　事務局

いただいた意見を参考に、本市の参画と協働を進めていきたい。

－　閉会　－